

雜 錄

●衆議院に於ける關稅定率法

中改正案議事錄

○委員長指田義雄君 關稅定率法中改正法律案の委員會の顛末を御報告を申し上げます、實は此委員には他に五件付託された法案があるのであります、併し此五條は韓國併合後十年間實行せられました關稅政策を改廢する問題でございます、多少の審議の長引きまする虞があるのであります、而も唯今議題になりました關稅定率法中の改正は前議會以來の懸案になつて居りますので、産業保護の上から取急ぎます必要がございます爲めに、特に此一案だけを切放して本日決定を致しまして、直ちに茲に御報告申上げる次第でございます、本案の趣旨は戰後我國に及ぼしましたる影響に刺戟せられまして、種々なる工業が勃興致したのでございますが、此工業の發達を保護助長致しまする爲めには、關稅法の關稅定率、其他政策の按排に依る必要があるものであります、即ち此法案は現内閣の戰後經營の一である産業政策の片鱗として認め得べき重大なる意味を有つて居ると考へるのであります、併し私は此案の各品目、稅率の按排、其他詳細なることは前議會にも既に度々御審議に相

成つて、當院を通過して居りますものでござりますから、是に就きましての説明は省略致しまして、總て議案に依つて御審議を願ひたいと思ふのでございますが、唯だ私は、此改正の主義だけを搔摘んで申上げて置くと云ふことは、此際多少の必要があるかと感ずるのであります、此案の改正の第一には不當廉賣、即ち彼のダンピングを如何にして防止するかと云ふ點に關する規定があるのであります、此不當廉賣に就きましては、此案の條件と致しましては先づ第一には不當に廉賣すると云ふ事實、不當なる價格を以て廉賣すると云ふ事實、更に其不當なる廉賣が我國の重要な産業に、危害を與へる虞のあると云ふことが、第二の條件と相成つて居ります、第三の條件は此事情に基いて、不當廉賣調査委員會の調査決定を経ると云ふことが第三の條件に相成つて居りますのであります、此三つの條件を備へました不當の廉賣のある場合に於ては、關稅定率に依つて定められて居ります課稅の外に更に其生産費に達する迄は適當の課稅をすることが出來ると云ふことを以て先づ第一のダンピングを防止したいと云ふの目的に相成つて居るのであります、第二は或種類の稅率を増加しまして、即ち從來從量稅に相成つて居りますものを、主として從價三割五分に改正を致しまして、此外國の輸入を多少防ぎまして、さうして内地製品の發達を期すると云ふことが第二の箇條になつて居るのであります、第三の主義と致

しましては、我國工業の原料たるべきものは大體に於きまして無税にする、大體原料品を無税にする、斯様な意味に於て規定せられてあるのであります、即ち此三つが主なる要點でございます、此三つに依つて先づ産業保護助長の目的を達せんとすることに歸著するのであります、更に此改正の中には一箇條他の意味があるのであります、それは過日の御決定になりました酒造税法の改正に依りまして此税率の權衡を得せしめますが爲めに、外國輸入の酒類に對しまして、税率の變更を致しました、即ち是は税率の權衡を得ると云ふ目的であるのであります、是等の理由に基きまして本案を提出せられたるものであります、然るに此産業の保護助長の目的を以てする税率の變更は、茲に提案せられて居ります以外に、まだ色々種類があるのではな

いか、例へば曹達工業の如き、加里工業の如き、或は亞鉛鐵其他の工業の如き、是等も亦税率の按排に依つて、是が保護獎勵をしなければ、内地の事業は成立たないことになるのではあるまいかと云ふ意味に於ける委員の希望が大方あつたのでございます、此點に就きまして、委員會は政府に對して色々の質問應答が繰返へされまして、結局それ等の問題に就きましては、一の希望決議を致しました、此希望決議に政府が若し同意するならば、所謂拙速を尙ぶ、時代の要求を少しも速かに貫徹せしめると云ふ意味に於きまして其他のものは希望を他日に繋ぎまして原案を此儘通過

せしめるが即て便利ではあるまいかと云ふことに一致したのであります、即ち其希望の條件を茲に讀上げます「政府は速に曹達加里、亞鉛鐵等重要なる産業の狀態を調査し適當なる關稅政策を確立するに努むべし」尤も此希望決議に對して斯様な説明を附加へて、政府の言明を求めたのであります「從來政府は此關稅政策の調査は著手せられて居るやうであるけれども、若し調査の全部が完了するを待つて之を提案せんとするならば、大に時間を要することになるのである、或は次の議會を待つても提案すべき程度に達せぬかも知れぬ、或は其次の議會まで延びるかも知れぬのである、財界の狀態は斷じて左様の優柔不斷を許さぬのである、かるが故に既に政府に於て是等の品目に就き、或は是等以外のものに就て調査を進められて居るものがあるならば、其調査の完了次第、縱令一つ二つの品物でも隨時に成べく近き機會に於て之を提案することにして貰ひたい、特に此處に掲げてあるものゝ如きに就ては、希くは次の議會に之を提案せられるやうに致したい」斯様な意味に於て政府の意向を確めて見たのであります、然るに政府は之に對して答へられまするには鐵、曹達の如きは現に財政經濟調査會に於て問題と相成り、餘程其議事も進行をして居る模様である、又亞鉛の如き其他の品物に就ても、大に調査は進行致して居るのである、故に豫ては全部の調査の結了を待つて提案する積りであつたが、今や調査の進行の模様を見る

に必しも全部の終了を待たずして、調査の済み次第切れ切れにても、成るべく速に議會に提案するやうに致したいと云ふ、希望を待つて居ると云ふ、政府委員の言明であつたのであります、委員會は此誠意ある言明に満足致しまして、此希望決議を附帶條件と致しまして、満場一致を以て本案を可決することに相成つたのであります、本會議に於てもどうぞ御賛成あらんことを希望致します(拍手)

○議長(奥繁三郎君) 本案の二讀會を開くや否やを諮ります

(「二讀會を開くに異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(奥繁三郎君) 第二讀會を開くに異議なしと認めます、第二讀會を開くことに決しました

○岩崎勳君 直ちに本案の第二讀會を開き、第三讀會を省略して、委員長報告の通り可決確定せられんことを望みます

(「賛成々々」の聲起る)

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君の動議に異議ありませんか

(「異議なし」の聲起る)

○議長(奥繁三郎君) 異議なしと認めます、直ちに第二讀會を開き、議案全部を議題に供します。

關稅定率法中改正法律案

第二讀會(確定議)

(「異議なし」の聲起る)

○議長(奥繁三郎君) 第三讀會を省略して、委員長報告通り可決確定致しました(拍手)

●製鐵所に關する問答 衆議院豫算第五分科會は七月十四日午前十時二十分開會前回留保し置きたる質問に入り鈴木錠藏氏製鐵所の現状及將來如何に就て質問し

白仁製鐵所長官 鐵價の暴落に伴ひ製鐵所の利益を減じたるは事實なり之原料鑛石が一時の高價時代に比し餘り低落せざると賃銀の騰貴を初め一般生産費の増嵩著しき結果にして利益減少は一般製鐵業共通の現象なるが幸に官營製鐵所にては他に比して原鑛石を割安に契約したる關係上豫算よりは激減を來したるも尙八年度に於て五百萬圓の純益を舉げ此種事業に於ては稀に見るの成績を收めたり而して製鐵所事業の將來に對しても敢て大樂觀は爲さざるも多少の自信は有し居れり。

と答へ鈴木氏の再質問に應じ

白仁長官 鐵價の暴落に伴ひ當時製鐵所の製品を市場に出す事は價格の動搖を助長する虞あるべしとの見解を以て多小買控へたるも目下の處は一般民間へ賣出すべき製品は餘り多く殘存し居らず唯官廳向の分は種々の關係にて未だ引取られざるもの少からざるが如し

次いで正木正藏氏は八年度製鐵所益金の豫算に比し大減少を來し居る件に關し製鐵所長官を詰りたる後九年度の益金豫想如何と問ふや白仁長官九年度は三百五十萬圓の豫

算なりと答へ正木氏は更に製鐵所職工同盟罷業に關し責任を質したるに對し

白仁長官 當増俸問題就業時間問題に關し豫算關係上懇諭する所ありたるも當時東京大阪方面より種々なる煽動者入り込み來りし爲長官の意見も其目的に達する能はざりしなり而して今後も斯ることなしとは斷言出來されども充分上官と職工との意思疏通の途を計り外來者が如何に煽動するも之に感染せざるやうに注意しつゝあり然れども將來勞働問題の發展に従ひ容易に安心出來難しと答へたり。

●製鐵所運轉資本擴張 委員會議事 衆議院の明治三十八年法律第十七號中改正法律案（專賣局及製鐵所運轉資本補足の制限擴張案）委員會は七月十七日午前十時三十分開會野中專賣局長官は提案理由を説明し次に製鐵所所管に付き白仁長官

製鐵所の製鐵高は當初より三萬噸四萬噸五萬噸九萬噸と逐年増加し來り九萬噸を製造するに相當する資本として四百五十萬圓の運轉資本を與へられ居れるも中途に於て此運轉資本に不足を感じたるものにや明治三十八年に毎年千二百萬圓宛の借入金をして爲し得ることとなりたるも、其後製產高は十萬噸十五萬噸二十萬噸二十五萬噸三十萬噸三十五萬噸と順次に増加し來りたる一面原料價格昂騰の結果現在の運轉資本四百五十萬圓と借入金千二百萬圓

のみにては到底事業の圓滑なる進展を圖り難き實狀なるを以て千二百萬圓の借入金を六千萬圓に増加すべき本案を提出するに至りたるなり。

と是亦提案理由を説明する所あり龍野周一郎氏專賣局の純益如何と質したるに對し野中政府委員

專賣局の事業益金は大正六年度八千百萬圓、五年度七千萬圓、四年度六千五百萬圓、三年度六千七百萬圓、二年度六千九百萬圓、元年度六千六百萬圓なり。

と答ふ龍野氏更に

製鐵所に於て原料として買入るべき主なる物品の種目及金額、投入したる事業資金額及純益金如何

と質し白仁政府委員

九年度豫算に計上したるものに依れば鑛石九十五萬噸單價十六圓總額千五百萬圓、石炭約百四十萬噸內半數は製鐵所所有の炭山より採掘するものにて單價十五圓半數は他より購入するものにて單價二十四圓の見積にて總額約三千二百萬圓支那より購入する銑鐵十萬噸單價七十五圓總額七百五十萬圓滿鐵鑛石五萬噸單價四十圓總額二百萬圓屑鐵約四萬噸單價五十五圓總額二百廿萬圓等が主なるものなり又八年度に於て一般會計所屬の支出總額は九千九百三十七萬餘圓にして純益金は八年度五百九萬圓七年度五千七百七十二萬圓、六年度四千五百六十四萬圓五年度三千五百七十七萬圓、四年度三千三百五十萬圓、三年度

六百二十五萬圓、二年度四百四十萬圓、元年度四百八十三萬圓なり。

と答ふ龍野氏

國防充實豫算通過は製鐵所と最も密接關係を有するものなりと信ずるが之が爲め新に事業擴張等の問題起るが如きことなや否や。

と問ひ白仁政府委員未だ其邊の事に付いて聞き込み居らざる旨を答ふ龍野氏尙從來製鐵所内部の腐敗情弊のありたることを指摘して松昌洋行と製鐵所との關係並に影島丸惠山丸兩船の後始末狀況を質したるに白仁政府委員

松昌洋行に貸下げたる影島丸は先年歐洲に於て撃沈せられ惠山丸は米國に抑留されたるが影島丸に付ては農商務大臣の指揮に従ひ賠償金百五十萬圓を取立つることとなりたるも借主に於て一時に之を支拂ひ難き事情あるを以て松昌洋行より海平炭を納入せしめ居る關係上右代金と相殺して支拂はしむることゝなし既に百萬圓の納付済となり殘餘の約五十萬圓も本年度中に納付となる豫定なり又惠山丸は戰時船舶管理令の發布に依り米國より之を引き取り目下製鐵所に於て使用し居れり。

と辯明し尙二三の質問應答あり之にて質問を打切り午後一時散會せり。

●製鐵業の合同

現状の儘にて推移せんか我製鐵業が外國品の競争に對し果して其獨立を維持し得るや否やは

大疑問にして一國の産業上並に國防上、重大なる問題たる可きは何人も認むる所なる可し近代文明立國の基礎條件とも稱す可き鐵と石炭との產出豊富ならざる事實が平時と戰時とを問はず日本の一大缺陷なるは言を俟たず國民の夙に心細く感じたる所なるに大戰の結果鐵の輸入が殆ど不可能に陥りたるを機會として我國の製鐵業は俄に勃興し相當の規模を備ふる二三大會社の發起を見るに至れり即ち是等諸會社が豫定の生産を實現するときは國內の需要を満足せしめ追つては増産計畫を進めて東南洋の市場をも支配し得るの望みさへ絶無に非ざりしに其基礎の未だ確立せざるに先だち戰爭終結の結果として市價の下落、需要の減少に逢ふや製鐵業者は忽ち經營困難の狀態に陥り銀行の救済に依て漸く其破綻を免れんとするの始末なれば營業の前途甚だ頼りなく随つて我製鐵業獨立の容易ならざるを思はざる可からず蓋し其事業の興起以來年尙ほ淺く加ふるに製鐵の業たる他の一般生産業よりは遙に困難なる事情あるを以て財界の變動に依て蒙る可き打撃も他に比して甚大なるは止むを得ざる所なれども抑も製鐵業は戰時中勃興せる諸種の生産業中最も重要なものにして之に對する政策は他の産業の場合とは自ら其選を異にし如何にして之を戰後に維持發展せしむべきやに就ては特別の注意を拂はざる可からず昨今市況變動の影響の爲めに困難に陥りたる其窮境を救ふが如きは事の小さなものにして我輩の多く顧みざる所、要は我

製鐵業の獨立するの方策如何に存するのみ。

然らば製鐵業の前途は今日の如き狀態を以て果して維持發展を全ふし得るやと云ふに我輩は斷じて其不可能なるを明言するに憚らざるものなり即ち生産組織上の問題は姑く擱き第一の原因は其原料の甚だしく貧弱なる一事にして或は國內に於ては絶無なりと稱するも差支へなき程の有様なれば原料補給の上に大なる困難ある上に其調達の費用も亦自ら大ならざるを得ず内に斯かる事情ある其一方に於て外國品の競争を顧みれば其困難は愈よ大にして差當り英國の輸出開放せらるゝと共に廉價なる米國品の殺到し來るも一兩年の内ならんと思はる、其時とも爲らば我鐵業は今日よりも遙に窮境に陥り随つて其場合に於て一時の彌縫的救済策の如き何等の効果ある可きに非ず或は關稅の障壁を高めて之を保護するか然らざれば政府より直接の保護を與ふ可しとの説もあれども兩者は共に百害ありて一利なきは何人も認むる所當業者に於ても言ふ可くして行ふ可からざる斯る對策をば斷然思ひ止まりて會社銘々が何等かの方法に依り自ら維持するの策を講ずるの外ある可からず其方法は他なし即ち製鐵業の合同にして其計畫には勿論現在の八幡製鐵所を其仲間に入るゝを條件とせざる可からず諸種の特典を有する官立製鐵所が合同の外に獨立するときは其計畫は到底成立せざればなり故に合同成立の場合には政府は八幡製鐵所を民間に賣却す可し斯くすれば其合同會社の各工場

は原料技術は勿論、製品の種類までも共通補足するの便利を有するのみならず巨億の資本を擁し目前の損失を物ともせずして永久の利益を期し得るを以て外國品の競争に對して其基礎を確立するに至る可し今後の製鐵業維持策は事業合同の外に望む可からず官民製鐵業の大合同は我製鐵業の維持發展上、唯一の方法にして生産上並に國防上より見るも其事の必要なるは言を保たず而して其合同の方法に就ては自から所見あれども吾人は取り敢ず政府及び民間の當業者が此根本政策に關して如何なる意見なるかを聞かんと欲するものなり。(時事)

●鋼鐵の需要者 鋼鐵の使用額は年々頻りに増加して居るが一體其等の鋼鐵を使用するものは誰れてあるか、米國では今年三千五百萬噸と云ふ同國としても之を十二年前に比すれば約倍額なる鋼鐵を使用して居るが、紐育の化學冶金雜誌によると其大部分を使用するものは必ずしも鐵道や大建築や船舶ではなく此三千五百萬噸の中少くとも二千五百萬噸は實は各種の道具だの機械だのパイプだの其他個個としては些々たる物品の製造に使用される者である。同誌を抄譯するに米國の銑鐵產出額は引續き數ヶ月に亘つて増加した後三月には一年分四千五百二十萬噸の割合を示したが銑鐵から鋼鐵の仕上げられる割合は普通七割六分であるから米國の鋼鐵產出額は年三千五百萬噸即ち月約三百萬長噸の割合である其の中鐵道の使用額は三割乃至四割と

普通に想像されて居るが此の想像の當れりや否やは甚だ疑はしい諸鐵道が今年中に軌條に使用する鋼鐵は二百萬噸内外であらう車輛に使用する分は百萬乃至二百萬噸であらう保線用、信號用若しくは其他鐵道の諸雜用に供せられる鋼鐵は之れに比すれば僅少なもので車輛の修繕には近來時としては一車に付四乃至五噸を要する程多額であるが橋梁建築物及高架橋等に就ては諸鐵道は新築するとが甚だ多いそれだから米全國の諸鐵道の鋼鐵使用額は一年五百萬噸を越えること少く多くとも一千萬噸には遙に及ばないであらう。次に大建築は目立つて鋼鐵の需要者であるが一年中に新築される摩天樓の數は多くは無い其中でも一棟に就き骨組みに千噸の鋼鐵を使用するのは甚だしく巨大な方で其れに附屬するパイプや昇降機の鋼鐵使用額は其の半ばにも及ばない者である。更に今年中に製造さるゝ乗用自動車は二百萬輛の見積りであるが其の中重い車は稀れて軽い方が多數であるから平均一噸の鋼鐵を使用するものと見れば充分なるべく従つて此の方面の今年中の鋼鐵需要額は二百萬噸乃至二百五十萬噸即ち鋼鐵產出總額の僅に一割に及ばない以上を總計して鋼鐵使用額は約一千萬噸に過ぎないことが判明したが產出總額三千五百萬噸から之を引去つた殘餘の二千五百萬噸は即ち農具、道具、金物、油管、油槽、輸出及其他に供給されるものである。

●日東製鋼と岩淵製鋼の合併 日東製鋼株式會社

七六二
にては七月十九日午後二時より帝國鐵道協會に第二回の臨時株主總會を開催し井上日東社長大塚岩淵社長外重役株主等數十名出席の上井上角五郎氏議長席に着き去る六月廿八日の臨時總會に於ける假決議の認否の件を議題に協議せるが満場異議無く是れを可決し三時散會せるが日東製鋼並に岩淵製鋼兩社合併に關する趣旨書左の如し。

決議の趣旨

大正九年六月廿八日開催の臨時株主總會は資本の半額以上に當る株主出席したるも總株主の半數に満たざりし爲め假決議を以て左記事項を承認可決したり。

一、會社合併の件

一、合併契約書の條項に基き株式會社岩淵製鋼所を當會社に合併すること

二、合併契約書の字句並に重要ならざる事項の修正及合併契約の實行に關し必要なる一切の事項は取締役後に一任し之を處理せしむること

二、定款變更の件

前項議案の合併成立を條件とし當會社定款第七條を左の如く變更すること

定款第七條 當會社の資本總額を金五百六十萬圓とし之れを舊株四千株新株一萬六千株第二新株八萬株第三新株一萬二千株に別ち一株の金額を金五十圓とす

以上

尙兩會社併合は之を以て成立せるを以て直に左の合併契約を可決したり。

合併契約書

日東製鋼株式會社（以下單に甲と稱す）と株式會社岩淵製鋼所（以下單に乙と稱す）の各代表者は事業を合同し利益を増進するの目的を以て甲乙兩會社を合併する爲め各自取締役會の同意を経て合併契約を締結すること左の如し

第一條 甲乙兩會社を合併し甲會社は存續し乙會社は解散するものとす

第二條 甲會社は乙會社の資本金一百五十萬圓此株式三萬株（一株の金額五十圓但一株に付金二十圓拂込濟）を合併し甲會社現在資本金五百萬圓此株式十萬株を資本金五百六十萬圓此株式十一萬二千株と變更し乙會社の株式二百株半に對し甲會社の株式一株（一株の金額五十圓但一株に付金五十圓拂込濟）の割合を以て乙會社の株主に交付するものとす

第三條 甲乙兩會社の株主總會に於て此契約の承認を経たる上は乙會社は二週間に其財産目錄貸借對照表を作成し之を基礎として一切の權利義務を甲會社に引繼ぎ甲會社は之を承繼するものとす

第四條 此契約は甲乙兩會社打合の上同一の日を期し臨時株主總會を招集して之を附議するものとす但甲乙兩會社

又は其一方の株主總會が之を否決したるときは其効力を失ふこと

右契約を證する爲同一の證書二通を作成し各其一通を保するものなり

●俱知安鐵山近況

北海道京極、脇方兩驛間四哩五十鎖の鐵道工事は昨冬來進行中の處、愈よ竣工して去月開通式を行ひ新驛脇方停車場の開業となれり從つて脇方驛は始發驛となりて運轉することとなりたり。

脇方驛は東俱知安村字ワツカタサツプの字名より由來命名されたるものにして俱知安鐵道は鑛石輸送目的が主眼となりて三井に於て私費を投じて起工し昨秋開通せる俱知安、京極間と共に鐵道省に總經費百萬圓を寄附して國鐵となしたるものなり。

此日を卜して此山の經營者たる株式會社日本製鋼所室蘭工業所は鐵山開鑛式と鐵道開通祝賀會を兼て行ひ三百餘名の緒紳を山に招きたり。

位置は北海道虻田郡東俱知安村字ワツカタサツプ民有地後志玄廳所在地俱知安町を距る東に六哩東俱知安市街を距る東に約二里ワツカタサツプ川上流に位し今回汽車開通と共に北海道廳所在地札幌に五時間にして交通するを得るなり。

地質は安山岩、石英粗面岩及洪積層より成れり鑛層は前

者兩岩と洪積層との間に堆積し下部は青色の粘土に化し上部は火山灰、火山礫、砂層の上層よりなれり。

鑛層の成因は廣く地下より湧き出づる岩鐵鑛泉に原因し此鑛泉外界に觸るれば共に硫黃分を析出して後、水酸化鐵を沈澱し本鑛層を成すもの、如く鑛泉湧出流路を見るに常に岩石は一樣に赤色の水酸化鐵の被膜を以て覆はるゝを識る。又水苔は此所に及んで生じ自ら鐵化すると共に鐵鑛沈澱の媒介を成す此の外鐵鑛沈澱關係著しきものは火山灰、粘土等の如く其他樹枝、岩石等鑛泉中に於て遂に代還せられて鐵鑛に變ずるものなり。

採鑛法は階段露天掘にして鑛石の大部分は直に鑛倉に入され現場貯鑛所に運搬せらる。

運搬方法として採掘せし鑛石はトロ及びインクラインにより脇方停車場の鑛倉に送入され本線に依りて岩見澤に廻り輪西製鐵所に輸送せらる。

昨冬以來橈を利用し鑛石を京極驛に運搬したる鑛量數一萬五千噸を悉く輪西に輸送したり採掘鑛量は約四萬噸なるが今日は汽車開通し諸設備整ひたれば一日の出鑛量正に四百噸に達す。

使役鑛夫は目下五百名にて明年度の擴張に對し別に四百餘名の鑛夫入山の見込なり。

●世界最大熔鑛爐開始 倫敦五日發英蘭エツブヴェールに建設中なりし世界最大の熔鑛爐は作業を開始し成功

を收めたり、一週間の生産額は約三千噸にして此新熔鑛爐は世界無比の最も低廉なる鋼鐵を生産すべきを以て製鋼業界に革命を起さしむるに至るべし。

●合金鐵救濟案 日本合金組合は頃日來組合代表者寒川恒貞氏に依り其筋に合金鐵事業獎勵保護に關する建議を爲し居れるが要點は元來合金鐵業は歐洲戰爭に依りて我國に發展したる事業なるに戰後外國品の輸入と共に殆ど廢滅に歸せんとしつゝあり之れが救濟の途は曩に記せし如く一、關稅保護一、年産額二千噸以上の合金鐵工場に對し製鐵業獎勵法の適用に在るも内地の需要は年額約一萬五六千噸にして其の大半は製鐵所八千噸、吳海軍工廠四千噸を要するを以て既に工廠にては内地製品を採用され居れば製鐵所にては採用するゝに至らず既設合金業者は業務を繼續し合金の獨立を爲し得べし而かも品質は舶米品に比し何等遜色なきのみならず價格に於ては約三分の二なりと云ふに有り近く農商務省より回答ある筈也。

●鐵材市況引返 鐵物類は最近漸次氣配稍硬化せり即ち銑鐵は茲需要期に向へると思惑筋の投物も殆ど一掃せられたる旁一時買控へられし需要も弗々ながら喚起され昨今百廿圓に引返し市況稍恢復に向へるが、是が供給方面を見るに大部分は操業の休止若くは縮少の状態に陥り生産は殆ど三分の一に減じ居れば在荷の漸減と共に行先需要期に入らば或は市況強調を示現するに至るべく百三四十圓の出

現も遠きに非ざるべしと觀ぜらる。次に丸鐵類其他の鐵物類も昨今海外高と輸出の引合好望なるに加へ内地は建築用其他の需要に伴ひ前途昂騰歩調を呈するに至るべしと樂觀せらる。

●**銑鐵逆輸出** 三井物産にては製鐵所の融通資金尙決定せざりし五月頃より内地銑鐵在庫品の處分に就き英米兩國に逆輸出すべく交渉中なりし處今回約一千噸を米國に輸出すべく取引決定したるが價格は米本國市場が内地に比較し二三割高値なるを以て更に引續き紐育及び倫敦方面にも交渉中なりと。

●**紐育銑鐵昂騰** 最近當市某所入電に依れば紐育に於ける銑鐵取引は製鋼用ベセマー銑鐵が相當行はるゝ外餘り捗々しき取引なきも骸炭缺乏の爲熔鑄爐を作業中止せるの狀態にて市況手堅く殊にベセマー銑鐵の如きは相場昂騰を告ぐるに至れり尙英國筋は過般來製鋼用銑鐵約八萬噸を米國市場にて買付けんとせるものゝ如きも今日迄の處失敗に終れる模様ありと。

●**ユーエス鋼鐵約定高**

米國ユーエス鋼鐵會社の本年六月末日に於ける約定殘高同社全部の注文高に對し製造濟のもの並に積出濟の數量を控除せるもの即ち製造未濟の數量は一〇、九八〇、〇〇〇噸にして之を五月末一〇、九四〇、〇〇〇噸に比すれば四〇、〇〇〇噸の増加である左に一月以降の統計を示す。

一月末	九、二八五、四四一噸
二月末	九、五〇二、〇八一
三月末	九、八九二、〇七五
四月末	一〇、三五九、七四七
五月末	一〇、九四〇、〇〇〇
六月末	一〇、九八〇、〇〇〇

●**英米鐵物市價** 最近倫敦發三井物産着電によれば英國鐵材市場は原料及燃料炭の不足と勞働問題及生産減のため價格は強調子にして已に本年中の注文は引受けざる由なるが現在の市價は

クリーブランド銑鐵百七十五圓五十錢△瑞典物二百四十圓九十錢△鐵板(英)三百七十五圓△大陸物三百九十四圓八十錢△薄板(英)五百四十三圓五十錢(大陸物)四百七十四圓△二十七枚圓入板(英)七百十六圓四十錢△平板八百七十六圓二十七錢△生子八百六十六圓三十七錢△鋳力板百七十封度七十五圓三十錢、百封度三十九圓二十錢尙最近着紐育發電に依れば米國にては本年中鋳力、釘の製造を中止せるが右は恐らく生産過剩の結果にて市價を維持する方策ならんと云ふ同國最近の市場相場左の如し。

棒二百九十五圓二十錢△板二百五十圓二十錢△型物(英)三百七十五圓六十錢(大陸物)三百六十五圓三十五錢△鋳力板百三十三圓四十錢△針金四百圓七十錢△釘二十五圓七十錢

●鐵類海外市況

最近紐育より某所に達したる入電に依れば紐育鐵物市場は日本に於ける財界動搖の結果偶々安値轉賣物ありて取引活潑ならざれど大勢は依然として強含みの商狀を呈し相場は横濱稅關渡棒並付二百九十五圓廿錢鐵板二百九十五圓廿錢鉞力百封物卅三圓四十錢、針金八番線一噸四百圓七十錢釘三五物一樽二十九圓六十七錢見當を唱へ又倫敦市場は依然原料燃料及勞力等の不足を告げ生産力未だ全然恢復するに至らざる爲め各製造家は既に引受けたる注文のみにて本年中の生産能力を充し是れ以上引受く可き餘裕を有せざる事とて相場は引き高値を持續し即ち横濱稅關渡值段はクリーブランド銑二百七十圓五十錢瑞典銑二百四十圓九十錢英國製鐵板三百七十五圓大陸製鐵板三百九十四圓八十錢薄板五厘、八厘、一分平均五百四十三圓五十錢同歐洲大陸製品四百七十四圓十錢、英國製薄板、廿七枚入七百十六圓四十錢同平板コメットブランド八百七十六圓卅錢生子板八百六十六圓四十錢鉞力板百七十封度七十五圓八十錢同百封三十九圓三十錢棒三百六十五圓アングル英國品三百七十五圓六十錢同大陸品三百六十五圓六十五錢見當を唱へつゝありと。

●製鐵拂下問題

八幡製鐵所に於ける九年度民間鋼材拂下高は四月三千四百五十一噸五月四千百噸六月四千六百八十一噸七月五千噸なるが一方需要方面にては一ヶ月平均三萬噸なれば作給方面に於ては目下京阪地方の三十萬噸

在荷と官民製鐵所の製鋼高と合すれば需要高の數俵に達すべく市價激變の昨今八幡製鐵所が從來の數俵を以て拂下ぐに於ては在荷は一層増加して市價低落すべきを以て當業者等は今回農商務者に對し八幡製鐵所の鋼材拂下は一時中止せられたき旨陳情せりと。

●特許

前號報告後鐵鋼に關係あるものを摘録すれば左の如し。

第三五八五二號

大正八年八月十六日出願
大正九年二月十八日特許
特許白耳義國アーサー・フランキグ
權者

瓦斯電氣冶金爐

發明の性質及び目的の要領 本發明は粗質の燃料を使用して瓦斯發生機に於て發生したる瓦斯を發生狀態及高溫度にて還元爐に供給し還元せられたる海綿狀の金屬は還元作用を終へたる瓦斯を利用して發生せしめたる電力にて熔融せしむ可くなしたる構造より成り其目的とする處は瓦斯發生機にて發生したる瓦斯を加熱することなく直に還元爐に供給し還元爐よりの排氣を利用して此種爐の作業を經濟的ならしめんとするにあり。

特許請求の範圍 一、本文に詳記し且添付の圖面に付き説明せる如く瓦斯發生機に於て粗質の燃料を以て發生したる瓦斯を發生狀態及高溫度にて還元爐に供給還元作用を終へたる瓦斯を金屬熔融用電力の發生に利用す可くなしたる瓦斯電氣冶金爐 二、本文に詳記し且添付の圖面に付き説明せる海綿狀の金屬及鐵渣を電流の抵抗として利用し高熱を發生せしめ以て熔融作業をなさしむ可き請求範圍第一項に記載したる瓦斯電氣冶金爐 三、本文に詳記し且添付の圖面に付き説明せる如く瓦斯發生機と還元及熔融爐とを結合したる請求範圍第一項に記載したる瓦斯電氣冶金爐。